

平成31年度

東京女子医科大学大学院 医学研究科（博士課程）

学生募集要項



東京女子医科大学

東京女子医科大学大学院医学研究科 博士課程

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

医学研究科博士課程の到達すべきゴールとして、その専門分野における独創的研究によって、従来の学術水準に新しい知見を加え、文化の進展に寄与するとともに、研究を指導する能力と哲学を養うこと、さらに臨床医学においては、新しい医療技術の開発および高度な専門技術を修得すること、また共同先端生命医科学においては新しい医療機器や医薬品の開発・評価のための医療レギュラトリーサイエンスを指導する能力を養うことを目指している。

アドミッション・ポリシー

医学研究科博士課程では基礎医学・社会医学・臨床医学・先端生命医科学あるいはそれらに関連づけた研究に専念し、医学領域の研究・診療・教育・行政における指導者を育成します。

入学に際しては、男女、年齢、国籍を問わず、以下のような人材を求めます。

1. 自立して研究に取り組む姿勢と独創性を有する人
2. 専門分野において強い研究心、モチベーションを持ち続けられる人
3. 幅広い視野と英語力を含む高いコミュニケーション能力を備える人
4. 豊かな人間性と高い倫理観をもって、医学の研究・教育の進歩に貢献する意欲を有する人

カリキュラム・ポリシー

医学研究科博士課程には、本学独自で開講する4年制の6つの専攻(形態学系、機能学系、社会医学系、先端生命医科学系、内科系、外科系)と、早稲田大学との連携で開講する3年制の共同先端生命医科学の7つの専攻があります。

4年制の各専攻課程では、希望する研究領域として主分野を1つ選択し、その指導教授の指導と助言の下で4年間の研究を行います。その間、科学的視野をさらに広げ、主分野を補うための選択分野と大学院共通カリキュラムなどを履修します。また、第3学年後半には学位論文のための研究に関して公開で中間発表を行い、指導教員とその他の教職員から研究内容に関して中間評価と助言を受ける機会があります。

3年制の共同先端生命医科学においては、自然科学の基礎と人間科学を含む人文社会科学の融合領域である医療レギュラトリーサイエンスの学問体系を3年間で確立するとともに、それに立脚して、「先端医療機器研究部門」と「創薬・再生医療研究部門」において、必修科目、演習科目、さらに専門科目について東京女子医科大学側と早稲田大学側の複数の研究指導者からの研究指導を受けます。

ディプロマ・ポリシー

4年制の医学研究科博士課程においては、所定の単位を修得し、さらに学位論文の審査と以下の項目の基準を満たすと認められる者には博士(医学)Ph.D.の学位が授与されます。特に優れた研究業績を挙げた者には特例として3年間で学位授与される場合があります。

3年制の共同先端生命医科学においては、所定の医療レギュラトリーサイエンスに関連する研究成果を挙げ、学位論文の審査と以下の基準を満たすと認められる者には博士(生命医科学)の学位が授与されます。

1. 優れた研究成果とともに、それに伴う幅広い知識と高い技能、ならびにその応用能力を有すること
2. 先進的・独創的研究を指導できる能力と研究哲学を有すること
3. 広範な視野と豊かなコミュニケーション能力を有し、国際的な活躍が期待できること
4. 豊かな人間性と高い倫理観をもって、医学教育・研究の発展に寄与する能力を有すること

東京女子医科大学大学院医学研究科(博士課程)概要

1. 修業年限

博士課程4年(特例として3年)

2. 学位授与

本大学院医学研究科に4年以上、特例として、優れた研究業績を上げた者については3年以上在学して所定の単位を修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格した者には博士(医学)の学位を授与する。

3. 奨学生制度

学業・人物ともに優れ、かつ健康である学生に対して日本学生支援機構の貸与制度がある。

4. 組織及び内容と学生定員

専攻	分野	指導教員	内容	入学定員	総定員
形態学系	神経分子形態学	藤枝 弘樹	神経分子形態学・同実習・実験	5	20
	顕微解剖学・形態形成学		顕微解剖学・形態形成学 同実習・実験		
	病態神経科学	柴田 亮行	病態神経科学・同実習・実験		
	実験病理学	小田 秀明	実験病理学・同実習・実験		
	微生物学免疫学		微生物学免疫学・同実習・実験		
機能学系	神経生理学	宮田 麻理子	神経生理学・同実習・実験	4	16
	分子細胞生理学	三谷 昌平	分子細胞生理学・同実習・実験		
	生化学	中村 史雄	生化学・同実習・実験		
	薬理学	丸 義朗	薬理学・同実習・実験		
社会学系	環境・産業医学	松岡 雅人	環境・産業医学・同実習・実験	4	16
	公衆衛生学		公衆衛生学・同実習・実験		
	法医学	木林 和彦	法医学・同実習・実験		
	国際環境・熱帯医学	杉下 智彦	国際環境・熱帯医学・同実習・実験		
	医学教育学	大久保 由美子	医学教育学・同実習・実験		
内科系	呼吸器内科学	多賀谷 悦子	呼吸器内科学・同実習・実験	8	32
	内分泌内科学	市原 淳弘	内分泌内科学・同実習・実験		
	糖尿病・代謝内科学	馬場園 哲也	糖尿病・代謝内科学・同実習・実験		
	腎臓内科学	新田 孝作	腎臓内科学・同実習・実験		
	循環器内科学	萩原 誠久	循環器内科学・同実習・実験		
	消化器内科学	徳重 克年	消化器内科学・同実習・実験		
	脳神経内科学	北川 一夫	脳神経内科学・同実習・実験		
	血液内科学	田中 淳司	血液内科学・同実習・実験		
	膠原病リウマチ内科学	山中 寿	膠原病リウマチ内科学・同実習・実験		
	精神医学	西村 勝治	精神医学・同実習・実験		
	小児科学	永田 智	小児科学・同実習・実験		
	皮膚科学	石黒 直子	皮膚科学・同実習・実験		
	放射線腫瘍学	唐澤 久美子	放射線腫瘍学・同実習・実験		
	医学物理学 ※医学物理士養成コース	西尾 禎治	医学物理学・同実習・実験		
	画像診断学・核医学	坂井 修二	画像診断学・核医学・同実習・実験		
外科系	呼吸器外科学	神崎 正人	呼吸器外科学・同実習・実験	10	40
	乳腺・内分泌・小児外科学	岡本 高宏	乳腺・内分泌・小児外科学 同実習・実験		
	心臓血管外科学	新浪 博	心臓血管外科学・同実習・実験		
	重症心不全制御学	布田 伸一	重症心不全制御学・同実習・実験		
	消化器外科学	山本 雅一	消化器外科学・同実習・実験		
	脳神経外科学	川俣 貴一	脳神経外科学・同実習・実験		
	整形外科	岡崎 賢	整形外科・同実習・実験		
	形成外科学	櫻井 裕之	形成外科学・同実習・実験		
	眼科学	飯田 知弘	眼科学・同実習・実験		
	耳鼻咽喉科学	野中 学	耳鼻咽喉科学・同実習・実験		
先端生命科学系	産婦人科学		産婦人科学・同実習・実験	8	32
	麻酔科学	尾崎 眞	麻酔科学・同実習・実験		
	泌尿器科学	田邊 一成	泌尿器科学・同実習・実験		
	歯科口腔外科学	安藤 智博	歯科口腔外科学・同実習・実験		
	救急医学	矢口 有乃	救急医学・同実習・実験		
	先端工学外科学	村垣 善浩	先端工学外科学・同実習・実験		
	遺伝子医学	山本 俊至	遺伝子医学・同実習・実験		
代用臓器学	清水 達也	代用臓器学・同実習・実験			
再生医工学	大和 雅之	再生医工学・同実習・実験			
統合医科学		統合医科学・同実習・実験			
疾患モデル研究	本田 浩章	疾患モデル研究・同実習・実験			

平成30年10月現在

(備考) 指導教員の空欄は選考中。

なお、分野横断的なコースとして、都市型がん地域医療を担うがん治療専門医養成コースが設置されています。

平成31年度 東京女子医科大学大学院医学研究科学生募集要項

1. 医学研究科募集人員

平成30年10月現在

専攻名	分野名	募集人員
形態学系	神経分子形態学、顕微解剖学・形態形成学、病態神経科学、実験病理学、微生物学免疫学	5
機能学系	神経生理学、分子細胞生理学、生化学、薬理学	4
社会医学系	環境・産業医学、公衆衛生学、法医学、国際環境・熱帯医学、医学教育学	4
内科系	呼吸器内科学、内分泌内科学、糖尿病・代謝内科学、腎臓内科学、循環器内科学、消化器内科学、脳神経内科学、血液内科学、膠原病リウマチ内科学、精神医学、小児科学、皮膚科学、放射線腫瘍学、医学物理学、画像診断学・核医学	8
外科系	呼吸器外科学、乳腺・内分泌・小児外科学、心臓血管外科学、重症心不全制御学、消化器外科学、脳神経外科学、整形外科学、形成外科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、産婦人科学、麻酔科学、泌尿器科学、歯科口腔外科学、救急医学	10
先端生命医科学系	先端工学外科学、遺伝子医学、代用臓器学、再生医工学、統合医科学、疾患モデル研究	8
入学志願者は専攻および主分野を選び入学志願票の所定欄に記入すること。		39

2. 入学資格

- 1) 医学部、歯学部、獣医学部または薬学部(6年制)を卒業した者および平成31年3月卒業見込みの者。
- 2) 修士の学位や専門職学位を有する者。
- 3) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者。
- 4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者。
- 5) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者。
- 6) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者。
- 7) 文部科学大臣が指定した者。
- 8) 本大学院において個別の入学資格審査により、医学部、歯学部、獣医学部または薬学部(6年制)を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者。

※出願資格の7)8)に該当する方は、事前に資格の審査を行います。出願期間開始日の2ヶ月前までにお問い合わせください。

※本学教員の身分を有したまま本大学院へ在籍することはできないものとします。

3. 出願期間

前期：平成30年8月8日(水)より8月15日(水)午後4時まで

後期：平成31年1月30日(水)より2月6日(水)午後4時まで

4. 試験期日

前期：平成30年9月7日(金)午前8時45分までに試験場所に参集のこと。

後期：平成31年2月22日(金)午前8時45分までに試験場所に参集のこと。

5. 試験場所

東京都新宿区河田町8-1 東京女子医科大学 臨床講堂Ⅱ

6. 試験内容

1) 語学試験(午前9時00分から10時00分まで) 英語についての筆記試験を行う。

英和・和英辞書のみ持ち込み可。但し、医学用語事典、電子辞書等は不可。

2) 面接試験(午前10時20分から) 口答試問を行う。

7. 出願手続

入学志願者は次の書類を一括して提出すること。

1) 入学志願票 本学所定のもの。裏面の履歴書欄も記入すること。

(※) 2) 卒業(修了)証明書 または 卒業(修了)見込証明書 または 在学証明書

(※) 3) 成績証明書

(※) 学士・修士・博士等の学位を取得(見込み含む)した全課程の各証明書を提出してください。

(※) 卒業(修了)証明書と成績証明書が同一となっている証明書を両書類の代替とできます(成績・卒業証明書等)。

(※) 編入学者の場合は編入学前の成績証明書も提出してください。

(※) 日本国外の大学の卒業(修了)生の場合は学位取得証明書も提出してください。

(※) 中華人民共和国内の大学の卒業(修了)生の場合は18桁の番号が記載されている卒業(修了)証明書を提出してください。

(※) 中華人民共和国内の大学の卒業(修了)生の場合は卒業(修了)証明書、成績証明書の代替として中国学歴・学籍認証センター(日本代理機構を含む)で発行された学歴認証、成績認証(原本かつ英語版)を提出できます。

(※) 日本語または英語で発行されていない各証明書を提出する場合は翻訳文、翻訳文の内容を証明する公証印が押印された公証書(原本)も提出してください。

(※) 各証明書の原本を提出できない場合は各証明書の代替として各証明書のコピーに大学印が押印された書類を提出できます。

4) 写真 2 枚 出願日前3ヶ月以内に撮影したもの(カラー写真 タテ4cm×ヨコ3cm 2枚、上半身・正面・無帽・無背景・枠なし)

1枚は志願票に貼付のこと。もう1枚は裏面に氏名を記入し、その他書類と合わせて提出すること。

5) 入学検定料 30,000円(本学所定の振込用紙(本要項とじこみ)を使用し、1)に貼付)

(注意) ○出願前に、必ず当該分野の教授・講座主任又は大学院教授と、今後の研究・教育内容についての相談の上、志願票に捺印をもらうこと。

○出願手続後の志望変更は原則として認めない。又、提出した書類および検定料は返却しない。

○入学願書と各種証明書等の姓が異なる場合は、戸籍抄本を提出してください。

○郵送にて出願の際は必ず書留郵便とし、封筒表面に「大学院医学研究科入学願書在中」と朱記すること。

受験票郵送を必要とする者は、切手392円分(簡易書留代)を同封すること。

○出願の際に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載等があった場合は、不正行為とみなし、

入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および検定料は返還しません。

8. 合格発表

前期：平成30年9月25日(火)午前10時

後期：平成31年3月18日(月)午前10時

・合格発表は、本学医学部 中央校舎1階玄関に掲示します。

・本学ホームページ上にも大学に掲示するものと同一の内容を公開します。

この案内は合否確認の補助手段ですので大学の掲示を正式な発表とします。

URL <http://www.twmu.ac.jp/univ/graduate/>

・電話やメールによる合否についての問い合わせには、一切応じられません。

9. 入学手続期間

前期：平成30年9月25日(火)より10月2日(火)午後4時まで

後期：平成31年3月18日(月)より3月25日(月)午後4時まで

詳細は合否結果通知書に同封される書類で確認してください。合否結果通知書は入学志願票に記載した住所に郵送されます。

10. 学費

種別	金額(単位:円)
入学金	310,000
授業料(年額)	350,000
実習費(年額)	500,000
計	1,160,000

◎本学卒業者の入学金は10万円とする。

◎授業料等の納入金は、休学中等の場合も原則として減免しない。

◎学生納付金の金額は、本要項作成後に改定されることがあるので、入学案内に記載する金額を納入すること。在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

11. 個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続きにあたって提出していただいた個人情報は、入学試験の実施・合格発表から入学手続き、および入学後の修学指導・支援等、大学が必要と判断した事項を行うために利用します。これらの業務の一部を、東京女子医科大学が指定した業者に委託することがあります。

12. 受験・就学上の配慮

身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、冊子裏面の連絡先までお問合せください。また、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合でも、速やかにお問合せください。

13. 入学辞退にともなう学費返還

一度提出した書類および納入した入学金、授業料、実習費は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、授業料・実習費のみ返還の対象となります。手続き方法等、詳細については、冊子裏面の連絡先に問い合わせてください。

14. その他

(注意) ○健康診断書は出願時には不要。

ただし、本入学試験合格者に対して入学手続きの際に健康診断書(本学所定の用紙)の提出を要する。

共同先端生命医科学専攻の入試要項(出願書類)については、
ホームページ(<http://www.jointbiomed.sci.waseda.ac.jp/>)よりダウンロードしてください。

他大学院から転入学を希望する場合の入試要項(出願書類)については、
ホームページ(<http://www.twmu.ac.jp/univ/graduate/medical/point.php>)よりダウンロードしてください。

大学院の到達目標

本学の大学院は「基礎医学・社会医学・臨床医学あるいはそれらに関連付けた研究に専念し、医学領域の研究・診療・教育・行政における指導者を養成する」と位置付けられている。

在学中に修得すべき到達目標を以下に掲げる。

I 一般的事項

1) 一般的知識

- ヒト(生物)の構造、機能、病態、および健康と環境ならびに社会との関わりなどについての既知の事項を理解できる。
- ヒト(生物)の構造、機能、病態、および健康と環境ならびに社会との関わりなどについての未知の事項を把握できる。
- 既知および未知の事項について、臓器、細胞、分子レベルで説明できる。
- 自分の研究の重要性・位置づけを認識できる。
- 用いる研究手法の原理・精度・感度などについて理解し説明できる。
- 実験上の規制(劇物、毒物、有機溶媒の取り扱いと処理など)を熟知している。
- 論文のプライオリティー、著作権に対する認識がもてる。
- 研究倫理について熟知している。

2) 一般的技術

ア) 研究手法

- 目的を把握できる。
- 研究計画を立案できる。
- 適切な手法を用いて、研究を遂行できる。
- 研究上の規則を遵守できる。
- 結果を的確に記録できる。
- 結果を適切に分析、解析できる。
- 結果を論理的にまとめ、結論を導ける。
- 自分の結果を客観的に平易に説明できる。
- 共同研究者と討論できる。
- 研究テーマを設定できる。

イ) 統計・情報

- 種々の統計法を用いて統計処理ができる。
- 必要な情報の収集・交換ができる。
- インターネットを活用できる。

ウ) 文献の検索

- 図書館を活用できる。
- 文献検索(二次資料を含む)ができる。

エ) 論文の読み方

- 論文(邦文・英文)の論点を理解できる。
- 論文の批判的吟味ができる。

オ) 論文の書き方

- 目的・方法・結果・考察の順に簡潔に記載できる。
- 要約としてまとめることができる。

- 図、表などを適切に作成できる。
- 適切な文献を引用することができる。
- 投稿論文に対する査読者の指摘に沿って訂正し、適切な返答をすることができる。
- 英文で書くことができる。
- 印刷原稿の校正ができる(和文・英文)。
- 二重投稿や他の論文からの転用、引用に関する研究者モラルを遵守できる。

カ)学会発表の方法

- スライド、ポスターを作成できる。
- 論旨を明確に述べることができる。
- 質問に対する確、簡潔な返答ができる。
- 他人の発表を理解し、評価できる。

3)医学教育に関する知識と技術

- 教育原理に関する基本的知識を習得する。
- 教育技法を習得する。
- 教育評価に関する知識と技能を習得する。

4)一般的態度(意欲、関心を含む)

- 自分の研究に意欲がもてる。
- 最新の研究動向に関心がもてる。
- 自己学習、自己開発を行うことができる。
- 他の研究者と協調し、共同して実験することができる。
- 他の研究者の話を聞き、討論することができる。
- 現時点での自分の能力を知り、適切な専門家の意見をもとめることができる。
- 国内外の研究倫理関連法律・指針および利益相反などの内容を熟知している。
- データのねつ造や盗用、不利なデータの隠蔽、研究費の不正使用などを禁ずる研究上の倫理を遵守できる。

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8 番 1 号
東京女子医科大学大学院医学研究科

入学等に関する照会

東京女子医科大学 学務部医学部学務課大学院担当

電話 03 (3353) 8112(代) 内線 22116

FAX 03 (5269) 7401

この医学研究科(博士課程)概要および学生募集要項を請求
するときは料金 400 円、郵送の場合は送料 140 円を要する。